

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

大崎工業株式会社 広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県豊田郡大崎上島町中野977番地

(3) 業種

化学薬品製造 (1639)

(4) 事業所位置図 別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成28(2016)年度を基準年度とし、平成30(2018)年度から2022年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 気品的な考え方

当社は、環境の保全を経営の当社は、環境の保全を経営の重要な課題と位置付け、環境に配慮した事業活動に務め、環境への負荷の低減を推進することにより、持続可能な社会造りに貢献します。

特に、今日の環境問題の中でも、とりわけ重要視されている地球温暖化防止については、自らの事業活動のみならず、当社の製品を使用する消費者のことも考慮し、温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。

2. 方針

- 省エネルギー、省資源の推進
- 新エネルギーの導入促進
- 環境にやさしい製品の提供
- 廃棄物の排出抑制、リサイクルの推進
- 環境保全活動への積極的な参加
- 社員への環境教育の徹底

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成28年度	平成29年度
二酸化炭素	8,475	8,356

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC) (PFC) (SF ₆) (NF ₃)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2		#VALUE!		#VALUE!
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産販売量(t)

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (2016年度)			原単位 削減目標	目標年度 (2022年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	8,475	7,137	1.19	5.0	8,500	7,500	1.13
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量	8,475	7,137	1.19	5.0	8,500	7,500	1.13
エネルギー消費原単位 (原油換算k l)	-	-	0.44	2.1	-	-	0.43
目標設定の考え方	排出量を2016年並みに抑えて、生産効率向上、生産量増加を考慮して、5%の削減を目指す。						

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 8 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
その他 温室効果ガス				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 主要製品生産量 (kt)

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (kt)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 1 9 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 3 2 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	36,660	99	370	5	34,672	98.5	352
非エネルギー起源CO ₂	79,720	99	805	5	75,353	98.5	765
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量	116,380	99	1,175	5	110,025	98.5	1,117
エネルギー消費原単位 (原油換算kt)	37,084	99	375	5	35066	98.5	356

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	ボイラー燃料使用量の削減	重油使用量を、蒸気1t当り、3L削減する。	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率ボイラーに更新 ・配管保温の強化 ・台数制御導入
2	電気使用量の削減	冷凍機電気使用量を、2%削減する。	<ul style="list-style-type: none"> ・熱交換器の洗浄実施 ・配管保温、タンク保温の強化 ・不要運転の禁止
3	電気使用量の削減	照明のLED化100%を、目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・水銀灯の更新 ・蛍光灯の更新
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

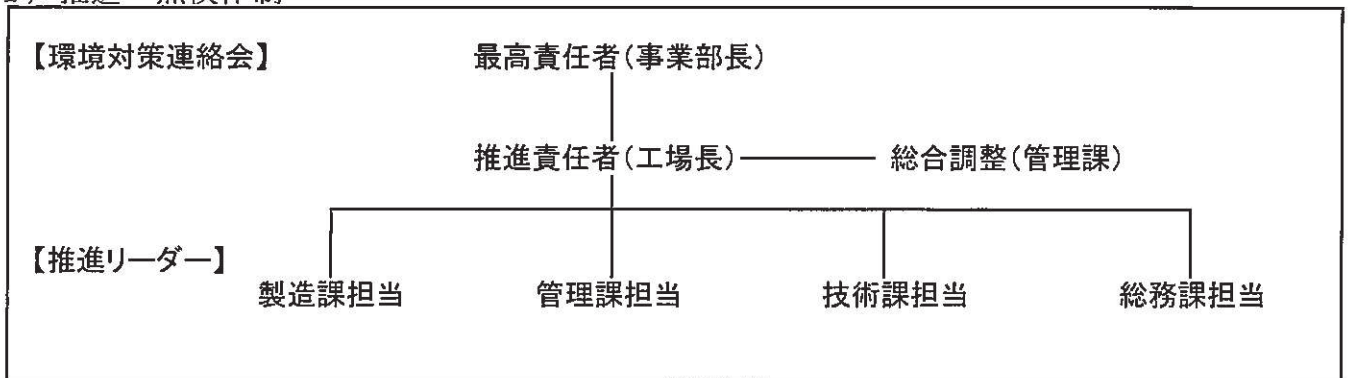
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	コピー用紙の削減	用紙購入量5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・両面印刷励行 ・FAX裏面印刷の実施
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

管理課を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、年度末の生産会議において定期的に評価・見直し等を実施し、継続的な向上を図る。
また、毎年度の組織状況、点検・評価内容については、計画書とともに公表する。

(3) 計画書等の公表

事業所に備え付けて、閲覧する。